

地理空間情報産学官連携協議会
共通的な基盤技術に関する研究開発ワーキンググループ（第6回）
議事概要

1. 開催日時・場所

日時：平成21年9月29日（火）17時00分～18時00分

場所：東京大学駒場第3キャンパス（生産技術研究所）An棟4階中セミナー室

2. 出席者

【産側】

（財）衛星測位利用推進センター
衛星測位システム協議会
（特）国土空間データ基盤推進協議会
gコンテンツ流通推進協議会
スペーシャリストの会
（社）全国測量設計業協会連合会
（財）日本情報処理開発協会
（社）日本測量協会
（財）日本測量調査技術協会
（社）日本地図調製業協会

【学側】

有川正俊 東京大学空間情報科学研究センター教授
柴崎亮介 東京大学空間情報科学研究センター長・教授
瀬崎 薫 東京大学空間情報科学研究センター教授
安田明生 東京海洋大学大学院教授
山田晴利 東京大学空間情報科学研究センター教授

【官側】

国土交通省国土計画局
国土交通省国土地理院
内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション）付
内閣府政策統括官（防災担当）付
警察庁科学警察研究所犯罪行動科学部
総務省情報通信国際戦略局
文部科学省研究開発局
農林水産省農林水産技術会議事務局
経済産業省商務情報政策局
国土交通省大臣官房
国土交通省総合政策局
国土交通省海上保安庁海洋情報部
環境省総合環境政策局

3. 議事

- 「研究開発マップ」の新分野等の追加検討の考え方
- 「研究開発戦略」におけるこれまでの活動
- 「アジア開発銀行ワークショップ」の開催概要
- 「G 空間 EXPO」の概要
- 今後の活動スケジュール
- その他

4. 議事概要及び主な発言内容

議事（「研究開発マップ」の新分野の追加検討の考え方）

資料 1 について産学幹事より説明。主な発言内容は次の通り。

- （東大山田教授）地理空間情報活用推進基本計画を踏まえ、「海洋」分野と「時刻利用」分野を追加項目として検討する等、新分野を継続的に研究開発マップに取り込んでいくことは重要である。（産学幹事）今後も検討を進める。
- （東大瀬崎教授）海洋については、シンポジウムの午前の部にあったように、多様なアイデアがある。提案の見直し、ブラッシュアップを行って行けばよい。（産学幹事）今後も継続していく。
- （東大山田教授）ITS に関して、上り/下りの勾配の分かる 3D 地図の要望があり、エコドライブの実現に有用。

議事（「研究開発戦略」におけるこれまでの活動）

資料 2 について産学幹事より説明。主な発言内容は次の通り。

- （産学幹事）「資料 2 付表」について、衛星測位利用推進センターは各省と施策について個別に議論しており、詳細資料を揃えている。

議事（「アジア開発銀行ワークショップ」の開催概要）

資料 3 について内閣府（科技担当）より説明。主な発言内容は次の通り。

- （東大有川教授）表題で、「GIS とリモートセンシング」ではなく、「GIS と衛星」の文言を用いる理由について。（内閣府廣木参事官）衛星の利用を限定することなく広い用途として議論するため。
- （内閣府廣木参事官）本ワークショップでは、アジア開発銀行（ADB）の開発援助等を通じた発展途上国地域の開発プロジェクト活動に我が国が貢献するためのスキーム作りに向け、ADB 等国际機関や政府機関の各担当者との議論が目的。
- （東大瀬崎教授）eHealth や mHealth 等については、ユネスコは既に開発を進めている。（内閣府廣木参事官）本ワークショップへの参加と発表をお願いしたい。参加できない場合でも、資料を送って頂くだけでも光栄である。
- （東大瀬崎教授）mHealth について詳しい適当な人を推薦することはできる。（内閣府廣木参事官）是非お願いしたい。

議事（「G 空間 EXPO」の開催概要）

資料 4 について G 空間 EXPO WG 幹事より説明。主な発言内容は次の通り。

- （東京海洋大安田教授）横浜での EXPO は人が集まりにくく大変になりそうで心配する。より広く参加を呼びかけていくとよい。（地理院田中地理空間情報企画室長）より広く国民一般を対象に、呼びかけの団体を今後増加していく。
- （東大有川教授）地理空間情報活用産学官連携協議会（協議会）と G 空間 EXPO との関係について。（国交省大野参事官）G 空間 EXPO は、本研究開発 WG とは直接的な関係はないが、同じく協議会の下に設けられている。

議事（今後の活動スケジュール）

資料 5 について研究開発 WG 幹事より説明。主な発言内容は次の通り。

- 次回の研究開発 WG は海洋と時刻利用の勉強会で 11 月～12 月に開催予定。
- 第 8 回研究開発 WG は検討会報告として 2～3 月頃に開催予定。
- その他にも、いろいろな例を取り上げ、情報発信をしていく予定。
- 資料 5 に従って今後の活動を行うことが了承された。